

「愛」「感謝」「調和」の凄い文字が消される

皆さん、この文字 **宀** をご存知でしょうか？

「そしじ」と読みます。意味はこの一文字をもって「愛」「感謝」「調和」を表わしています。第二次世界大戦後、日本の弱体化、日本人の精神性を崩壊させる政策をとった GHQ によって消された文字の一つとされています。

「そしじ」は「宇宙」「神」「主」を合わせた文字で、「愛」「感謝」「調和」を表す漢字です。人間としての個の存在意義や役割、宇宙、人、気を繋げる役割などを表すパワー溢れる尊い文字として知られて

いましたが、悲しいことに今日では死語になってしまっているのです。

この文字の深義を読み解きますと、右上の字割図で明らかなように「宇宙の神の主の素(もと)が詞(コトバ)と字(ウ・子=宇宙・音)である」ことを表現した文字と解せます。

「神の主がコトバと宇宙の音」??、誰しもが疑問を抱く筈です。しかしここには深い哲理が秘められているようです。

私たちにとって、言葉とはいったい何なのでしょう？

それでコトバについてお話を進めてゆくことにいたしましょう。「言葉」とはいったい何なのでしょう？すこし掘り下げて考えてみましょう。

- ・ギリシャの哲学者・アリストテレスは「人は言葉の動物である」と喝破しています。
- ・新約聖書のヨハネ福音書第一章には「初めに言(ことば)があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので言によらずに成ったものは何一つなかった」と書かれています。
- ・日月神示(20世紀最大の預言書の一つ)には「神は言波ぞ」と謳われています。

これらの文言によって言葉は宇宙にとっても人間にとって極めて重要なものであることが伺い知ることが出来ます。

近代哲学の祖・デカルトは「我思う故に我あり」と有名な言葉を残していますが、では、何故に「思う」ことができるのでしょうか？もし、言葉がなければ「思うこと」も出来ないはずです。

人は言葉を駆使して物事を識別し認識し思考し、欲望を膨らませ、想像し、意識し、そして人類の全ての文化文明を創造しているのです。

もし言葉が無ければデカルトのように「我思う」ことも出来ず。アリストテレスの指摘するように「人間は人間たる根拠を失う」ことになってしまうのです。

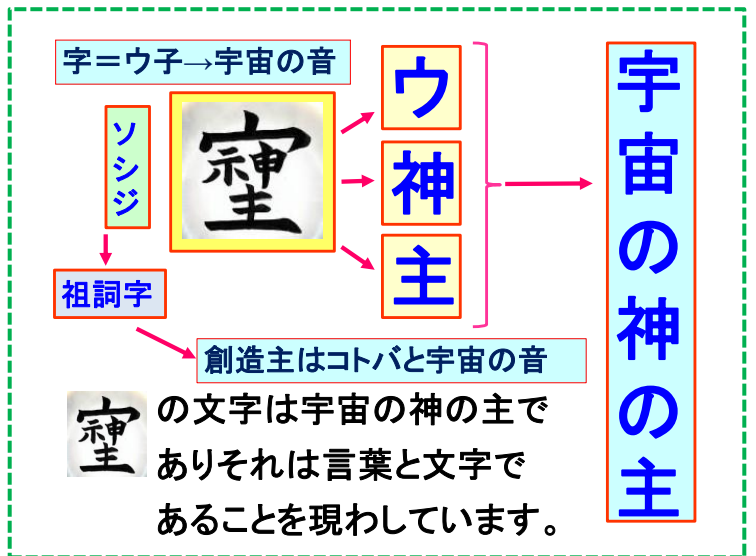
地球上に生息するおびただしい種類の動物の中で、唯一、言葉を有しているのは人間だけです。ですから「人間」とは「人言」とも言えるのです。言葉の衣を着ているのが人間だとも言えるのです。

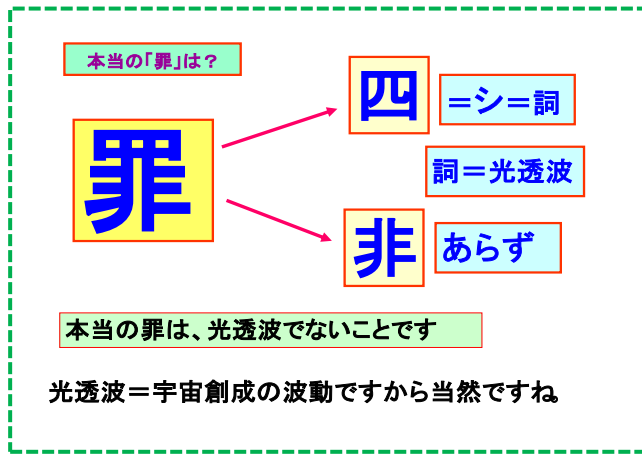
言葉があったからこそ文化文明が開かれた

宗教・哲学・科学、さらにこれらをベース生みだされている様々な思想や主義・主張、そして政治・経済・教育・文化・社会・その他の全ての学問は、言葉(数字も含む)と文字によって成立しているのです。もし、言葉が無ければ、これら一切は存在出来ません。同時に人類の文化・文明も言葉無くして存立出来るはずありません。

言葉の乱れが波動の乱れ、波動の乱れが心の乱れ、心の乱れが世の乱れに繋がっているのです。

このように考えますと、人類にとって言葉が根源的に最も重要なものであることに気づくはずで、ところが人類は言葉に関して極めて無頓着で道具の一つの様に思っていたのです。そのために言葉を誤用し悪用し乱用して、様々な世の混乱を生み出し続けてきたのです。





言葉は音であり波動であり、エネルギーです。ですから心も波動エネルギーと言えます。

私達は寝ても覚めても片時も休むことなく思ったり考えたりして生活しています。それが人間ですね。この殆ど無意識に行っている思考作用とは何をもって行っているのでしょうか。それはコトバです。日本人なら日本語で、アメリカ人なら英語で、中国人なら中国語で、国や民族によってそれぞれ言語は違っても、脳裏ではコトバが回転し能(はたら)いて思考や想念を作り出しているのは人類共通なのです。

この大切な言葉の認識と使い方が間違っているところに、ありとあらゆる混乱と危機の原因が潜んでいたのです。このことは文字や言葉の奥にある真理を読み解く命波学(光透波理論)の字割によっても左上の図のように明らかに裏付けられているようです。

言葉は波動、言葉を正すことで救いの道が開かれる

衆知のように現代科学は「全てのものは波動によって成り立つ」との見地に立っています。ならば、全てのものの原点である「波動=言波」に焦点を置き、言葉の波動を正すことにより人類の救いの道が開かれてゆくことに着目する必要があります。

全てのものは波動によって現れているということは、今日、世界人類が抱えている苦悩、苦痛、危機と混迷は、波動の乱れによって起きている現象であり、その波動を正してゆけば、それらの苦しみが消えてゆく……、そのような魔法のような解決の道が開かれてゆくということです。

「神は言波」「コトバは波動」。言葉のエネルギーで理想の時代が開かれようとしているのです。

聖書に「初めに言葉ありき、言葉は神と共にあり、言葉は神なりき、全てのものは言葉によって成った」と書かれていることは、キリスト教の信者はもとより多くの人達が知っていることです。

言葉は音、音は波動、ですから言葉の波動を正してゆくことにより、人類の抱えている苦悩苦痛が解消してゆくことを暗示しているのです。

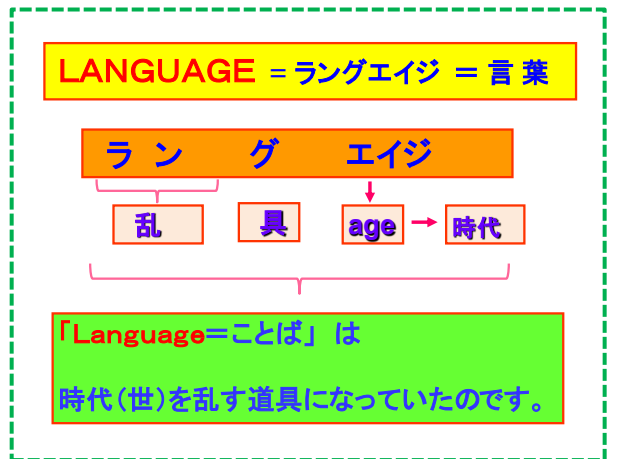
言葉と思考は切っても切れない関係にあります。先にコトバが回転することにより思考が成り立ち、思考は意識を生み出します。そして意識は現象化する力を有しています。分かり易く言えば世界人類の意識の総合した波動が、今日の混迷した世界情勢を生み出しているのです。ですから、これからの時代を正してゆくキーワードは意識を生み出す言葉の浄化にあると言えるのです。

闇の勢力によって言葉が悪用され人類は悩み苦しむ

この混迷の時代の大転換の時代を乗り越えてゆくにはガイドが必要です。世界を仕切るDC=闇の勢力に支配され、その意のままに従わされ、操作された情報を連日連夜ステレオタイプで流し続ける新聞・テレビ・ラジオ等のマスメディアによって殆どの現代人は不安と恐怖に導かれ、マインドコントロールされては活路を見出すことは出来ません。

今日まで、そして今日も世界人類は闇の勢力によって、気付かないうちに情報操作されてきました。そのような言葉の乱れが、心を乱し、波動を乱し、その積み重ねが現代の世界的危機と混乱を生み出しているのです。

深刻な地球環境の破壊、ロシアとウクライナの戦争、中東情勢の危機、米中の世界覇権をめぐる抗争、原水爆の危機、コロナウイルスの蔓延、経済的破綻、食糧危機、その他、今日の世界人類的な危機と混乱の渦中にあり、その根源的な原因を突き詰めると、人類が言葉の真性に気づかず、乱用し悪用しているところに起因しているのです。



混迷打開の道は言葉の奥の真理に目覚めること

事業にしても何事しても行き詰まった時は原点に戻らなければ解決の道はつかめません。世界人類の混迷と苦悩の究極の原点は、一切の文化・文明の大元である言葉なのです。すなわち言葉の乱れを正さなければならぬ時代を人類は迎えているのです。「霊性と和す」の意味を持つ「令和」の時代はまさに、その時代の到来を意味しているのです。

この時代の要請に応えるように、昔から言霊の幸はう国と言われてきた日本の国に生まれ出た文字の言霊学が光透波(コウトウハ=コトハ)=命波学なのです。

霊

(ソジ=素詞字)の文字は宇宙の真理、宇宙精神であり、大自然の基軸を表現した文字とも言えましょう。

過去幾千年にわたり言葉や文字の奥に隠された神性・真理に人類は気付かずいたのです。それを解き明かされたのが光透波の祖・小田野早秧先生であります。命波学(光透波理論)を確立されたのでした。従来のジャンルで言えば言霊に該当しますが今までの言霊学ではありません。言葉の奥にある哲理探求の学びとも言えます。

光の言波の波動が拡がれば、理想世界が開かれる

「光」の「透」明な「波」動と表現する「光透波=コトハ」は、言葉の奥に秘められた真理を読み解くことが出来る理論であり、宇宙に繋がる「光の言波」と言えましょう。この光の言波のエネルギーに目覚め活用することにより、ちょうど水面に一石を投じて広がる波紋のように、人々の意識に影響を与えてゆくことが出来るのです。

光の言葉のエネルギーに目覚めた人が増えれば、当然その数に正比例して相乗効果が発揮され世の波動の浄化が進み、行きつくところは世界に起きている混乱と危機も自然と治まってゆくようになるのです。

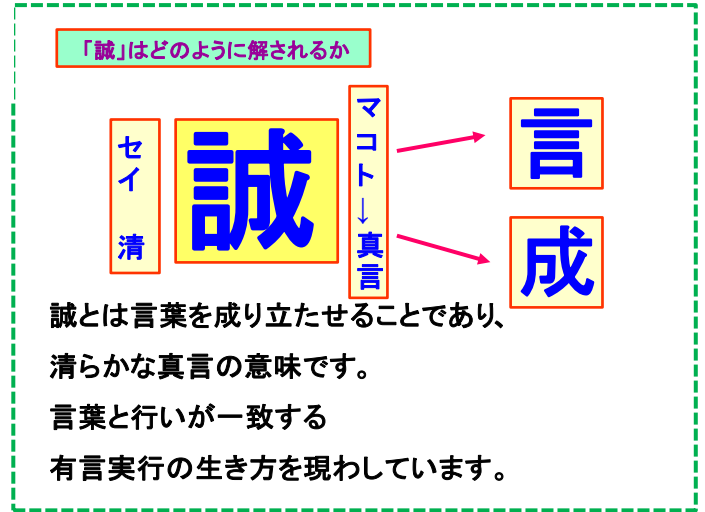
人々の集合意識の波動が今日の危機と混乱の世界を生み出しているのですから、宇宙の真理に立つ光の言葉を拡散してゆくことにより、無意識のうちに世界中の人々が宇宙のご意図に沿った心へと軌道修正されてゆく。そして共存調和の理想のミロクの世が開けてゆくということです。

言葉の善用、言行一致の「誠」の心に立ち帰れ

このことを分かり易く表わしている代表的な文字が右上図の「誠(まこと=真言)」という文字です。「言」を「成す」、すなわち嘘・偽り・不誠実を為さない生き方に人々が目覚め、世の指導者が「我善し」エゴの考え方を捨て、この「誠=真言」の言葉を使うようになれば、混迷と危機と破滅に瀕した人類は自ずから救いの道へと導かれてゆくのです。

ご関心のある方、光透波を学びたい方は、本誌案内の各光透波セミナーへ、又は光透波の書籍をご購読ください……。幸福と発展の道が開く光透波→光の言葉を一緒に学んでみませんか？

文責 宿谷



11月 光透波セミナーのご案内

●光の言波・真理教室 (第160回 光透波セミナー)

- 日 時 11月15日(金) PM 1:30~PM4:45
- 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 B(4F) 東京都港区浜松町1-6-7
- 演 題 「アセンションと光透波」 J R浜松町(北口) 地下鉄大門(B1) 各4分
- 講 師 宿谷直晃 ●参加費 ・当日 3,000円 ・事前申込み2,000円

●Zoom講座

- 10月8日(金) PM 8:00~PM9:30 ●演 題 「文字の言霊学 光透波」 無料
- 講 師 宿谷直晃 ●参加者希望者は下記の宿谷まで連絡。パスワード通知します

※ 以上お申込み、お問い合わせは宿谷へ syu98-8do8@mbr.nifty.com 090-2447-2037

●名古屋 命波学講座

●日 時	11月 2日(土)	AM10:00~PM5:00	基礎講座 第1・2回
●日 時	11月 7日(木)	PM 1:00~PM4:00	基礎講座 第14回
●日 時	11月11日(月)	PM 1:00~PM4:00	基礎講座 第15回
●日 時	11月12日(火)	PM 1:00~PM4:00	基礎講座 第14回
●日 時	11月13日(水)	PM 2:30~PM5:30	和やか会
●日 時	11月21日(木)	AM10:00~PM2:00	基礎講座 第4回
●日 時	11月27日(水)	PM 1:00~PM4:00	基礎講座 第17回
●場 所	實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201		
●講 師	堀尾君子	●参加費	各3,000円

※ 命波学受講の日時調整可。お申し込み、問い合わせは堀尾へ 090-8499-5989

●名古屋塾 (シン光透波)

●光透波基礎講座

●日 時	11月11日(月)	AM 11:00~PM 1:30	
●場 所	名古屋市昭和区八事日赤病院の近く	●参加費	3,500縁
●演 題	「小田野先生の使命と光透波の話」	●講 師	磯部賢一

●熱田神宮参拝と光透波のお話し会

●日 時	11月22日(金)	AM 10:00~PM 1:00	
●場 所	熱田神宮 (集合は神宮会館前)	●参加費	3,000縁
●演 題	「神と人との繋がり・字割実践」	●講 師	磯部賢一

●光透波 Zoom講座

●11月29日(金)	PM8:00~ PM10:00		
●演 題	「天鏡図の手書きと解説」		
●講 師	磯部賢一	●参加費	10,000縁 (個人レッスン付)

●3カ月 個人レッスン講座

●オンライン講座、オフライン講座とも可能

●時;随時 予約制	本気で学びたい方を対象 毎日可		
●講 師	磯部賢一	●会 費	98,000縁

※ 以上、お申し込み、お問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

●第6回 神戸、三ノ宮言霊セミナー

●日 時	11月 4日(月・祝日)	PM 6:00~PM 8:00	
●場 所	三ノ宮 生田神社近くのビル 7F 「NOEL」		
●演 題	「とにかく、あと2か月、2024年一番大切な考え方、生き方」	●参加費	3000円
●講 師	林 和也	※ 講座の申し込み先	090-8580-3776 (林まで)

光透波

・ 實光透波研究会	名古屋市名東区香南1-103-8-201	堀尾君子	090-8499-5989
・ シン光透波塾	名古屋市熱田区旗屋2-16-4	磯部賢一	090-9199-0248
・ 光の言波, 真理教室	東京都品川区小山6-19-5	宿谷直晃	090-2447-2037
・ 光透波言霊セミナー	兵庫県播磨町西野添2-5-12	林 和也	090-8580-3776